

# 第12期 中間のご報告

(2015年4月1日～2015年9月30日)

当社グループが目指すもの

# DON'T STOP!

当社グループは「Don't Stop!」を社是とし、企業理念である「カスタマーファースト」「バリューアップ」「イノベーション」「コンプライアンス」の4つの基本コンセプトの実現に向けた取り組みを継続的に実行し、かつ「とめない、とまらない」ことを会社経営の基本方針としています。



株式会社  
マネーパートナーズグループ

代表取締役社長

奥山 泰全

## 株主の皆様へ

ご挨拶

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。  
ここに当社グループの第12期事業年度の中間業績（2015年4月1日～2015年9月30日）の概況についてご報告申し上げます。

当中間期は、前事業年度に引き続きカバー収益の収益力向上に取り組みつつ、お客様へのサービスの利便性の向上や海外旅行客をターゲットとした「Manepa Card（マネパカード）」の一層の訴求など、投資取引を行うお客様の増加、更には投資にとどまらない外国為替の実需に対応した新たな事業の育成に取り組んでまいりました。

FX取引においては、各取引端末上のお客様向けの情報配信導線の整備や、今後重点的に拡大を図る広範囲にわたる一般のお客様を受け入れるための取引サービスの平易化に継続して取り組むとともに、コアなお客様から望まれていたサーバー預り型の移動平均線による自動売買機能を2年以上の準備期間をかけ8月に導入いたしました。

「Manepa Card」においては、昨年9月のサービス開始から1年を経過し、新規口座開設のペースではFX取引のお客様を上回るところまで漕ぎつけることができました。

今後は、FX取引口座との連動や、シナジーをより一層発揮できるよう注力してまいるとともに当社グループ独自の複数通貨利用可能なこの「Manepa Card」の利便性をより向上させ、多くのお客様にご利用いただけるよう取り組んでまいります。

当事業年度中間の連結業績は、前事業年度から増収増益となり、営業収益は前年同期比44.7%増となる3,092百万円、経常利益は前年同期比299.3%増の894百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比322.6%増の588百万円を計上することができました。

今後も、FX取引のみならず、「Manepa Card」や空港での外貨紙幣受取サービスをはじめ、より一層一般のお客様に外国為替の魅力や利用にあたっての利便性をご提供できるよう取り組み続けてまいります。市況に大きく影響を受ける外国為替証拠金取引を引き続き成長させていくとともに、市況の影響を受けにくく、安定的に、かつ多くのお客様にご利用いただける実需系サービスを収益事業となるよう育てていくことにより収益基盤を強化するとともに、「外国為替ならマネーパートナーズ」と多くの皆様にご認知いただける経営を目指してまいります。

引き続き当社の今後の発展にご期待くださいますようお願い申し上げます。

### 当中間期連結業績

|                    |            |
|--------------------|------------|
| ■ 営業収益             | 3,092 百万円  |
| ■ 経常利益             | 894 百万円    |
| ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 588 百万円    |
| ■ 総資産              | 72,214 百万円 |
| ■ 純資産              | 11,391 百万円 |
| ■ 1株当たり四半期純利益      | 19円31銭     |

Point **1**

当中間期の  
外国為替相場の状況

当中間期の外国為替相場は、直前6ヶ月（2014年10月～2015年3月）の流れを引き継ぎ、極めて低い変動率であった前年同期と比べ、総じて動きの大きい相場状況となりました。とりわけ、後半の中国株式の下落やそれに続く中国経済の減速懸念は、日米欧の株式市場のみならず外国為替市場に大きな影響を与え、資源国通貨である豪ドルを中心に値動きが拡大しました。この結果、外国為替取引高は、前年同期と比べ約20%増加の5,231億通貨単位となりました。

Point **2**

ビットコインへの  
取組み

当社は、Kraken名義で世界的にビットコイン取引所を運営するPayward Inc.と同社の日本子会社であるPayward Japan株式会社との間で、ビットコイン取引をはじめビットコインを活用した決済サービスやビットコインを原資産としたデリバティブ取引等に関する業務提携について検討を行うことに合意しました。この合意をはじめとして、当社は、一般社団法人日本価値記録事業者協会へ賛助会員として加入するとともに、ビットコイン関連ビジネスの事業化についての検討を開始いたしました。

Point **3**

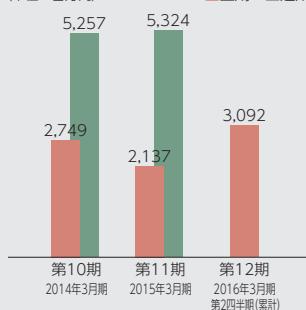
収益性の向上

当社グループは、2013年3月に大規模なシステム投資を行って以来、お客様の取引をカバーすることによって得られる収益を最大化するため、継続的にカバーアルゴリズムをはじめとするカバー手法の改善に取り組んでまいりました。また、システム以外の面でも、より良いカバーレートを得るためにカバー取引先の関係強化等に努めました。この結果、当中間期の取引高に対する営業収益の割合は、前年同期と比べ約20%向上いたしました。

財務ハイライト

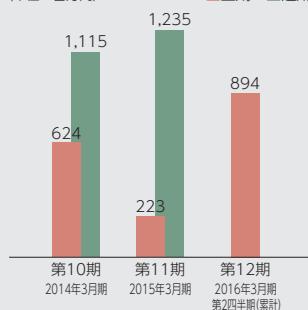
営業収益

(単位：百万円)



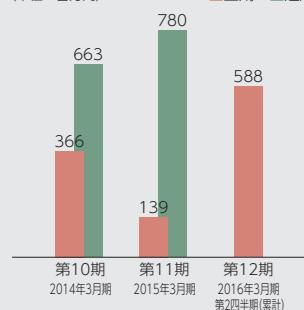
経常利益

(単位：百万円)



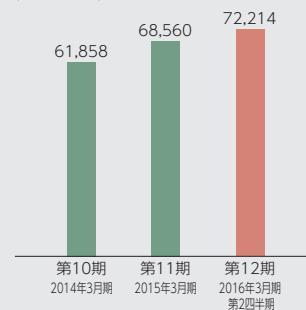
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(単位：百万円)



総資産

(単位：百万円)



※営業収益には、消費税等は含まれておりません。

## 〈当中間期の取り組み〉

4月

### 4/18 【FX】 「連続予約注文」新規リリース

PC向け簡易取引ツール「クイック発注ボード」に、あらかじめ買値と売値を指定する条件付注文を最大20件登録できる機能をリリースしました。この機能を利用することにより、常時相場を注視しなくとも、利食いや損切りをあらかじめ設定した条件で自動的に行うことができるようになります。

6月

### 6/1 【マネパカード】 FX口座からの入金が可能になりました

これまで銀行からの円貨の振込に限定されていたカード口座への入金が、FX口座から直接外貨を振り替えることができるようになりました。

7月

### 7/17 【ビットコイン】 Krakenとの業務提携に係る基本合意

「上期のポイント」に記載のとおり、当社はビットコインの取引所Krakenを運営するPayward Inc.及び同社の日本法人と業務提携について検討を行うことに合意し、ビットコイン関連ビジネスの事業化の検討を開始いたしました。

4月 APRIL

5月 MAY

6月 JUNE

7月 JULY

8月 AUGUST

9月 SEPTEMBER

4月

### 4/20 【FX】 スワップポイント 受取サービス開始

お客様の利便性向上のため、FXの建玉を決済することなくスワップポイントのみを受け取ることができるサービスを開始しました。

7月

### 7/10 【外貨両替】 外貨両替・受取サービスの 最短受取期間を短縮

事前予約することで簡易な手続きで空港にて外貨紙幣を受け取ることができる「外貨両替・受取サービス」において、従来、最短でも8日かかっていた外貨紙幣の受取りスケジュールを最短4日に短縮いたしました。

8月

### 8/22 【FX】 「自動売買機能」新規リリース

PC向け高機能取引ツール「HyperSpeed NEXT」に自動売買機能を新規追加いたしました。当機能は、サーバーにてお客様が設定した自動売買ルールを預り取引を執行する本格的な機能で、当初は自動売買において最も使用される移動平均線の利用をサポートいたします。

## 事業データ

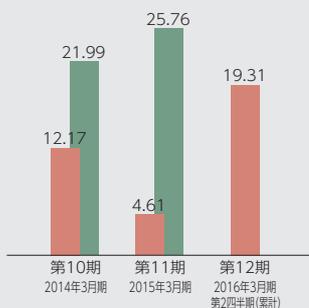
### 純資産

(単位：百万円)



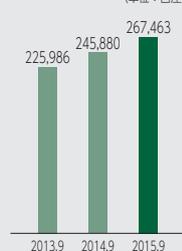
### 1株当たり四半期(当期)純利益

(単位：円)



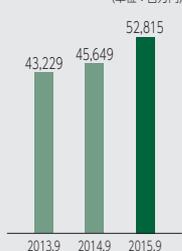
### 顧客口座数

(単位：口座)



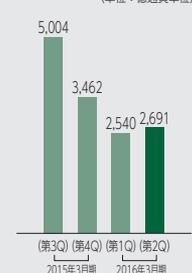
### 顧客預り証拠金

(単位：百万円)



### 外国為替取引高

(単位：億通貨単位)



(注) 顧客口座数、顧客預り証拠金・・・各第2四半期末時点の口座数、預り証拠金残高  
外国為替取引高・・・各四半期毎の3ヶ月間の取引高  
なお、それぞれの計数には、2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めて表示しております。

# 自動売買機能の新規サポート

お客様が売買ルールを組み合わせることで戦略を作成し、その戦略を稼働させることで、設定された売買ルールに従って自動的に成行注文が発注されます。



## ☐ マネバ待望の自動売買、4つの特長！

24

### ！ パソコンの電源はOFFでもOK！ 仕事中でも旅行中もきっちり発注！

作成した戦略は当社サーバに保存されますので、パソコンを立ち上げていなくても、HyperSpeed NEXTにログインしていなくても、条件を満たしたときに自動発注されます。お仕事などでお忙しいお客様、外出の多いお客様にも安心してご利用いただけます。

¥0

### ！ マネバの自動売買は追加コスト0！ スプレッドも、手数料も変わりません。

自動売買といえばスプレッドが広かったり、手数料がかかったりと高コストなイメージがありますが、パートナーズFXの自動売買は、通常取引(1万通貨単位のパートナーズFX)と同じスプレッドで取引されます。



### ！ 戦略ごとにポジションを制御！ あなたの戦略を邪魔しない、柔軟な注文スタイル

1つの口座から複数の戦略を稼働させることができるマネバの自動売買は、戦略ごとにポジションを制御しますので、関係のないポジションが決済されることはありません。戦略を止めることなく、ストリーミング注文でリアルタイムに決済することも可能です。また、ポジションに対して利食い、損切りを設定しておくことも可能です。(※)



### ！ 複数の戦略の成績チェックが可能！

HyperSpeed NEXTは過去のデータを元に成績をチェックするバックテスト機能を搭載していますので、作成した戦略の成績を確認することができます。様々な組み合わせのバックテストを行いたい場合も、「複数バックテスト」機能により一度の作業で確認が可能です。

※必要証拠金や証拠金維持率は従来通り口座全体で計算されますので、追加証拠金や自動ロスカットに備え、余裕のある資金でのお取引をお勧めします。



## マネパの実需対応サービス

株式会社マネーパートナーズは、FX取引のみならず外国為替の実需に対応したサービスに積極的に取り組んでおります。

2012年3月にサービスを開始した、外貨紙幣を空港で受け取ることができる「外貨両替・受取サービス」は、毎年着実に利用者が増加しており、当中間期におけるご利用は、前年同期の約40%増に達しております。

また、2014年9月にサービスを開始した、世界中のマスターカード加盟店で利用できる多通貨対応プリペイドカードである「Manepa Card」も、サービス開始から約1年が経過し、既に新規カード発行枚数はFXの新規口座数を超える勢いで増加しております。

当社グループは、これらの外国為替関連の実需対応サービスに加え、ビットコインをはじめとする仮想通貨に注目しております。仮想通貨は、資産としての側面と決済手段としての側面を併せ持ち、これまで当社グループが外国為替証拠金取引をはじめとする外国為替関連業務で蓄えたノウハウを生かせる分野であります。今後、実需対応サービスの一環として、仮想通貨関連ビジネスの事業化に向けて取り組んでまいります。

## 会社概要 (2015年9月30日現在)

|        |   |
|--------|---|
| 商号     | 株式会社マネーパートナーズグループ                                       |
| URL    | http://www.moneypartners-group.co.jp/                   |
| 所在地    | 東京都港区六本木一丁目6番1号   |
| 代表者    | 代表取締役社長 奥山 泰全   |
| 設立     | 2005年6月10日  |
| 資本金    | 1,843百万円  |
| 従業員数   | 8名(連結:92名)  |
| グループ会社 | 株式会社マネーパートナーズ<br>株式会社マネーパートナーズソリューションズ                  |
| 事業内容   | 持株会社としてグループ各社の株式を保有することにより、当社グループ全体の経営戦略、経営管理機能を担っています。 |

## 株主メモ

|             |  |
|-------------|--|
| 事業年度        | 毎年4月1日から翌年3月31日まで  |
| 定時株主総会      | 毎年6月   |
| 上記基準日       | 3月31日<br>その他基準日を定める場合は、あらかじめ公告します。   |
| 公告方法        | 電子公告 <a href="http://www.moneypartners-group.co.jp/">http://www.moneypartners-group.co.jp/</a><br>ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 |
| 株主名簿管理人     | 三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 同連絡先        | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>☎ 0120-232-711 (通話料無料)   |
| 特別口座の口座管理機関 | みずほ証券株式会社及びみずほ信託銀行株式会社   |
| 事務取扱所       |  |

(ご注意)

1. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

## 配当について

当社は利益還元に関し、株主の皆様のご期待とご支援に一層応えてまいりたいとの考えから、継続的かつ適正な利益還元を経営の重要課題と位置付けております。具体的には、年間の配当性向の目処を連結当期純利益の30%とし、中間配当及び期末配当の年2回実施することとしております。

2016年3月期の中間配当につきましては、上記の方針に基づき、1株当たり5.5円(配当金の総額168百万円)とさせていただきます。

